

# 平成20年度 町政座談会が開催されました

「平成20年度町政座談会」が平成20年11月11日～11月20日までの平日8日間、町内の各会場において開催されました。会場では、福士町長が町政全般にわたる重要施策を述べた後、参加した町民の皆さんと積極的に意見交換を行いました。

1月号では11日から4日間行われた座談会の要旨をご紹介します、次号に残り4日間の内容を掲載します。



## 〔野々上福祉 交流センター〕

Q

&amp;

A

**Q** パイプハウスでイチゴ栽培をして道の駅で販売したいが助成はあるのか。ハウスや苗は助成の対象か。

**A** イチゴにも県の助成があるはず。農協か認定農業者であれば受けられる。施設関係の助成しか聞いていなかったのので後で確認する。今までイチゴの生産がなかったのだから検討していきたいと思う。

**Q** 新幹線の駅名については、町民の意向を聞くべきだ。該当自治体の意見を尊重すると聞いているが、「七戸十和田駅」と聞き、かなり不満が出ている。十和田市では、新幹線にお金を出さずらいなら、駅名「十和田」はいらないと言っているがどうかならないか。

**町長A** 上十三地域広域市町村圏協議会（以下、上十三広域圏）の会長は、十和田市長が務めている。今後も広域圏の会議があるので、町民の意見がもっと反映するようにしていきたいと思っている。「七戸」という名前については、町の要望として十分すぎるほど尊重している。理解してもらいたい。

**Q** 新幹線駅名が「七戸十和田」としても駅があるのは七戸町だ。合併後も「七戸」の名を大事にしている。なんとしても「七戸駅」ということはできないか。

**町長A** 上十三広域圏で出た意見をさしおいて「七戸」とは言えない。  
**Q** 駅名は「七戸十和田駅」で決まなのか。ややこしいので、「七戸駅」でよいではないか。

**町長A** 駅名の要望については、上十三広域圏のものと、町議会のものとの町長自らがJRへ持って行かなければならない。最終的に駅名を決めるのはJRである。  
**Q** 道の駅物産館の売上が昨年、全部で5億円、野菜と加工品で2

億円と聞いている。また、かなり広いスペースで新しく物産館ができると聞いているので、野菜など売れるよう努力してもらいたい。

**A** 旅行者が多くならないと売れない。今の景気では、売上はなかなか見込めないが、イオンも出店予定なので、商業施設もにぎわってくと期待している。努力します。

**Q** JRに駅名の決定権があると思うが、熱意をもって要望すれば伝わると思う。

**町長A** 新駅は上十三広域圏の協力がなければ実現しなかった。恩恵を受けている広域市町村の意見は無視できない。七戸に駅ができることで痛みを受けている市町村もあることも踏まえ、みんなで協力していかなければならないと思う。駅を利用してもらうには上十三広域圏の力が必要。町民の願いは重く受け止め、JRにも必ず要望は出します。

**Q** 各家庭に設置している防災無線の機械は故障したら交換してもらえるのか。

**A** 故障した場合は、修理するので総務課へご連絡ください。なお、使用できない受信機は交換する。現状は、七戸地区が個別受信機で、天間林地区は外のスピーカーになっている。天間林地区にも個別受信機の設置を考えているが、現在デジタル方式でないと認可がおり

ないため、町全体の整備をするには多額の経費がかかる。しばらくの間は、修理・交換しながら使用していきたいと思う。

**Q** ながいもネットの問題どうなっているか。

**A** 昨年、検査された人がいて対策会議を行った。つるを腐らせてプラスチック部分を取るしかないと思う。自然にかえるものもあるが、ネットの価格は通常の2倍もある。麻のネットも使用できそうだが、腐らせるのに2年くらいかかる。

**Q** 学校が閉校してから、管理を野々上連合会で行ってきた。ポラティアで年3回は草取りなどを行っている。改善センターの管理も含め、古くなった場合、これからどうするつもりか聞かせてください。

**A** 施設の活用について、町では行財政改革の中で検討している。学校等は大きい施設なので、すぐはどうするかは決められないが、町民皆さんの思いを考慮し、相談して決めていきたい。

**Q** 乳ガン検診について、今年受けようと思ったら受けられなかった。受診について奇数と偶数で分けているのは本当ですか？

**A** 今年度までは奇数と偶数の年齢に分けていた。来年度からの政策で、特に乳ガン検診については町のキャッチフレーズにしようと

している中で、若いうちから受診できるように計画。乳ガン検診は、毎年実施を目標に検討していきたい。

【坪地区農産物加工等施設】

Q 防災無線について、国道沿い  
に家があるが、全く聞こえない。  
3年くらい前に相談に行ったが、  
どうにかならないものか。

A 防災無線については、合併後  
問題となっており、七戸地区は個  
別受信機、天間林地区はスピーカ  
ーのみとなっていて、統一するた  
めに検討中。しかし、現在、デジ  
タル方式でないと許可がおりず、  
町全体を整備するためには、10億  
円くらいの予算必要ともいわれ、  
多額の費用がかかる。スピーカー  
を増設するなどして対応していき  
たいと思っているが、もうしばらく  
待つてもらいたい。

Q ここ、坪の集会所は農産物加  
工等施設となっていて、立派な加  
工機械がそろっている。施設が完  
成した平成3年当初は使っていた  
が、現在、使い方を知る者がいな  
くて使用できず、ロースカントリ  
ー近くの加工場まで行き、年1千  
円の会費を払って使用している。  
なかなか行くことができないので、  
自由に集会所の機械を使えないも

のか。

A そのような状況であればもち  
たいないので、皆さんと相談して  
使えるものがあるなら、どんどん  
使用できるようにしたいと思う。

Q 榎林にも同じような加工機械  
があるはずだ。加工をやってみた  
いので自由に使わせてもらえない  
か。

A 実態を調べて使えるようにし  
たい。坪も榎林も、当時は使用さ  
れていたと認識している。10年使  
われていないことになる。対応し  
ます。加工クラブなどを立ち上げ  
ると、県でも指導者を派遣してく  
れる。

Q 新幹線の利用者について、合  
併当初の平成17年では、県で1日  
3千人が利用するであろうとある  
が、それから3年経ち、情勢が変  
わってきた。最新の予測では1日  
の利用客はどれくらいか。

A 県独自の算出方法で、町とし  
て3千人の根拠は、手元に資料が  
ないので分からないが、最近、県  
の調整連絡会議で北海道大学の助  
教授をお願いして調査を行った結  
果、利用客は約2千百人となっ  
ている。数値は下がっているが、あ  
くまでも予想なので実際に開業し  
てみないと分からない。

Q 利用客の調査は「七戸(仮称)  
駅」での試算なのか。「十和田」が  
付いた場合は、利用客がどれく  
らい違うのか。

A 利用客の試算は、「七戸(仮称)  
駅」のもので、「十和田」が付い  
た場合の利用客については、現在  
把握も予想もできない状況。利用  
客については、「二戸駅」を参考に  
しており、二戸駅周辺は三戸町や  
岩手県軽米町などを含め10万人の  
エリア人口がある。上十三は20万  
人のエリア人口があり、平内など  
からも利用があると考えると約2  
千5百人の利用客が予想される。



Q 1日の乗り降りで3千人か。  
片道で1千5百人ということか。

その中、何割が観光客か。  
町長A そういうことではない。  
何割が観光客かは分からないが、  
七戸駅周辺エリアは、二戸駅周辺

エリアの倍はあるので、二戸駅の  
倍は観光客が見込めると考えてい  
る。

Q 知名度の低い「七戸」だけだ  
とインパクトが弱く観光客も少な  
いと思う。「十和田」をつけたほ  
うが良いのではないか。

町長A 東京都の教育委員会に聞  
いたところによると、青森県で修  
学旅行や農業体験等をさせたいと  
話している。交通の便が悪いので  
今まで青森に来られない人もたく  
さんいた。上十三広域圏の協力が  
あつてこそ新幹線開業が実現した。  
七戸では全国的に知名度が低い  
ので、知名度がある十和田をつけて、  
上十三広域圏では「七戸十和田駅」  
とした。誰のための、何のための  
駅なのかよく考え、将来のために  
観光客を増やして地域の所得を上  
げるには、どうしたらよいか考え  
なければならぬ。

Q 現在、若者たちはどこに行き  
たいか、どこに泊まりたいかをイ  
ンターネットを利用して探してい  
る。行き先の近い所に降りると思  
うのではないか。時刻表では近いと  
ころを検索するので、駅名に「十  
和田」と付けたからといって、利  
用者は増えないと思う。

町長A 名前は大事だ。「十和田」  
と付くと分かりやすいし、観光客  
も来やすい。今の段階では上十三  
の市町村長を集めて上十三広域圏

で合意されたものがそのまま駅名  
になるわけではない。

Q 公共下水道についてここ、坪  
地区ではやらないのか。

A 現在、道ノ上や森ノ上などで  
は通っており、町全体に下水道を  
通したいが、この地区に通すには  
家のない所も通すため、経費がか  
かりすぎる。坪地区は合併処理浄  
化槽での対応になると思う。浄化  
槽整備について助成をしているの  
で社会生活課に相談してください。  
Q 家を新築しない浄化槽の助成  
は対象にならないのか。

A 合併処理浄化槽の助成につい  
ては5人槽、7人槽、10人槽とそ  
れぞれ国・県の補助がある。金木  
尾山がやっている。家を建てる前  
に事前に届け出をして認定をもら  
わないと助成が受けられない。リ  
フォームなどの際にも申請はでき  
る。

Q 今年、七戸秋まつりに連合婦  
人会で流し踊りに参加したが、広  
報に載せてもらえなかった。婦人  
会の募集の意味も兼ねてまつりに  
参加しているの、来年からでも  
広報に載せてもらいたい。

A 大変申し訳ございません。で  
きるだけ多くの活動を広報に掲載  
し、周知できるよう、今後気を付  
けたいと思う。

Q 農家の使用する肥料について、  
価格が高いので役場で助成しても  
らえないか。

**A** 肥料の高騰については、国・

県では協議しているが、町ではまだ取り組んでいない。灯油については、施設ハウスの冬の燃料は、今年、差額の7割を補てん（たとえば150円が200円になると差額は50円。50円の7割を補てん）することになっている。肥料についての取り組みは農協が主体なので、分

かり次第お知らせする。町でも新年度予算に盛り込めるか検討し、できれば助成していきたい。

**Q** 道路に設置されているプランターの花は誰がやっているのか。きれいだと思うがお金がかかっていると思うのもつたいない。

**A** 土地改良区の環境整備保全隊がやっている。国の事業で、町では1千万円を助成している。この事業は平成19年から23年までの5年行うことになっており、国が2分の1、県・町が4分の1ずつ負担している。

**Q** 駅舎がだんだんと出来てきたが、それにもなつて屋根がついた駐車場は作らないのか。これから冬になり、長く駐車しておく車について雪を除雪するのが大変だ。

**A** 駅周辺の駐車場は約7百台を予定している。新青森駅は4階建ての立体駐車場を建設予定だが、七戸（仮称）駅は経費をかけず、駐車料金を安くしたいと考えている。立体駐車場では管理に経費が

【中央公民館】

**Q** 七戸町に駅ができるのに「十和田」が付くのは納得できない。なぜか。

**町長A** どちらかというところ、私も「七戸」が良いと思っている。しかし、全国の人には「七戸」だけだと分からない。よりたくさんのお客に来てもらうため、「七戸十和田」が良いと考える。十和田湖という資源も近くにあり、利用価値がある。当初は「ミニ新幹線」としてスーパー特急ができる予定だったが、八戸駅より乗り換えで遅くなるので、「フル規格で新幹線を通すべき」と説得した。地方一帯の振興のため、フル規格にしようとして上十三広域圏の方々が頑張ってくれた。全国的に七戸町は知名度が低いために、ホテル建設や定期バスをJRにお願いしたときも「できるだけ全国に印象のある駅を作ってください」と言われた。すべて観光客の数次第だが、色々な施設ができるためには、こちらの駅名が良いか悩んでいる。

**Q** 福士町長は、町長を続けるのか。選挙に出るか意向をはっきり教えてください。

**町長A** 9月の議会でも聞かれたが、今期限りでやめさせてもらう。選挙には出ないつもりだ。残りの任期、頑張る。

**Q** 昔、軍馬用地や南部縦貫鉄道



の用地として提供し、現在は使われず空中分解した土地を、地権者が自ら買い取っている状況。孫や子どもにどうやって財産を分けたら良いのか。過去に失敗した経験を生かして、世代交代を安心してできる町にして欲しい。

**A** 農業が全盛期の時代があった時の流れを乗り越えて頑張っていかなければならない。新幹線へ提供した用地は空中分解しない。心配はない。

**Q** 新幹線事業と農業の両立を望む。駅舎の固定資産税だけで町の予算をまかなうのか。口を開いて観光客を待っているのか。

**町長A** 駅が開業すれば、農産物

も売れてくる。新幹線がある限り、絶対にさびれない。どんどん良くなつていくと思うので夢をもって頑張つて欲しい。

**Q** 桜木にあるカーブミラーが見えなくなっている。昨年だけでも3回事故があった。ゴミの収集場所もカーブの所にあるので危ない。

**A** 場所を確認して早急に対応する。明日にでもやる。

**Q** 駅名はまだ決定しないのか。地元の見解は反映されるのか。

**町長A** 意見は尊重されるが、単純に「七戸駅」とはいかない。駅名はJRが開業1年前に決めるので、勝手に決められない。

**Q** ある会合で分館名について「分館」とはおかしいと言われた。町では分館という名前についてどう考えているか。

**A** 天間林地区は現在も、学区単位で分館として活動しており、今年度、七戸地区にも4つの分館をつくった。七戸地区にも昔、小学校区はあったが学校の統合により無くなった。今後、より公民館活動をしていくために、まったく同じ状態となった。分館はとても大切である。法的にも認められている名前なので問題ないと思う。

**Q** 町職員が車などですれ違ってもあいさつをしてくれない。町の職員としてすごく残念に思う。

**A** 住民あつての町職員である。そんなことがあつたなんて改めて

残念に思う。指導を徹底していく。申し訳ありません。

**Q** 新駅の名前は何でも良い。駅名ではそんなに来ないと思うので、もっと町のためになることを考えて欲しい。青森県には大規模な工場が少ない。新幹線がくるのになんで工場ができないのか。

**町長 A** 企業誘致については常日頃、国に訴えている。制度や基準に沿って頑張っているが、なかなか援助してもらえない。自力で頑張っていかなければならないと思う。さらに努力します。

**Q** 駅が出来て、交通の便が良くなければならないと思う。

**A** 何も無い所に駅ができるので定期バスなどを考えている。十和田観光や上北観光、タクシー、レンタカーなども活用しようと、現在、実行委員会で検討中。乗る人の不便にならないようにしたい。

**Q** 駅に降りる人をどう呼び込むのか。政策はどうなっているのか。

**A** 実行委員会に特産品部がある。これまでである良いもの、これから開発していくもの、色々あると思う。今後も頑張っていきたい。また、「駅からハイキング」という商品がJRより出ている。来年5月につつじまつり、6月にローズカントリーのバラまつり関連の商品として出す話がきている。

**Q** 世界遺産に登録しようと二ツ森貝塚が注目されているが、他に

も天間館と蒼前の一里塚も保存状態が良く、残っている。国指定にしてもらえないのか。

**A** 今年9月に二ツ森貝塚を含む北東北の縄文遺跡群が世界遺産暫定リストに登録されたが、世界遺産になるには5年から10年はかかると思う。国指定に関しては、国指定は難しいものがある。

**Q** 今年、社会保険で七戸病院のドックを受けた。知人が勤め先より証明書を出してもらえず、「手続きが面倒と聞いて受けなかった」と話していた。国民健康保険のように検診をスムーズに受けられないものか。

**A** 対応しない企業に問題がある。検診は会社の受診券が必ず必要なので、会社の方で作業してもらわないと、どうにもできない。これからの課題になってくると思う。このような皆さんの声を、町の意見として国・県に伝えていきたい。

【町集会所】

**Q** 農業後継者のことについて、本来、農協が動くべきだと思うが、町でも力を入れて欲しい。1つの産業として優秀で有望なのが農業だ。しかし、農業を支える人の高齢化が進んでいる。農業後継者対策に力を入れて欲しい。北海道で

は家付きの土地を提供するなど対策をしている。農林業の予算が年々減っているのだが何とかならぬものか。

**A** 以前は新規就農者について、町でも助成した経緯がある。今では農業だけでは生活できず兼業農家が増え、どう対策したらよいか悩んでいる。農業を本格的にやっている人には見合った助成・支援があるべきと考える。また、将来を見据えて、転作農地を活用したバイオエタノールの試験に取り組んだりしている。新規就農者や後継者用に、農地に住宅を組み合わせたたりして、魅力ある対策を立てていきたい。

**Q** 現在、米が安く、肥料が高くなり、農業では食べていけない状況にある。兼業農家でなければ生活できない。どうしたらよいのか。

**A** 現状としては野菜などの国際的競争が激しくなり、安い労働力で安い野菜がたくさん輸入されている。本来は外国からの輸入ストツプが望ましいが、できない状況。国全体での取り組みで、やる気のある人に支援して、外国に対抗していかなければならない。町では厳しい財政状況で、うまく農業に予算がまわらず申し訳ないと思っている。

**Q** 韓国に世界中の業者が視察に訪れるマートがある。良い運営システムで1キ口単位からトン単位

まで対応している。売上の75パーセントが農家の収入になるそう。道の駅の物産館についても、特徴を持たせないといけないと思う。色んな所を視察して勉強した方が良いと思う。

**A** いかにして消費者に受け入れられるか、売上を出せるか、これからさらに勉強して努力したいと思う。



**Q** 天間林地区は70歳から敬老会をやっていた。合併後対象が75歳からになった。旧村時代に70歳から参加した人は75歳からじゃなくても参加させて良いと思う。七戸地区では各地区で敬老会をやっていないので、そのうち会がなくなると聞いている。

**A** 天間林地区は75歳から敬老会の対象になり、各分館で実施している。七戸地区は70歳になる人、90歳、100歳を対象に「盛年式」として実施している。当面はそのまま実施して、今後、両地区のやり方を統合していきたい。

**Q** 定率減税について、町独自で決める“など新聞に掲載されていたが、実際はどうなのか。

**A** 国からまだ指示がきていない。そのうちにちゃんとした要綱がくると思う。国の補正予算が通らなければ行われないことなので、早くお知らせできるように町でも努めたい。

**Q** 除雪について、市ノ渡地区をもう少し早くやってほしい。現在は朝7時ごろにきている。県道などの本線は早いですが、町道が遅い。

**A** 建設課でパトロールをしながら、除雪オペレーターと連絡調整している。連携をうまく取って、早く作業できるよう努力したい。今後の課題とする。

◎新駅名について

上十三広域圏では「七戸十和田駅」、町議会、七戸町商工会では「七戸駅」と要望が出されている。相互の意見を踏まえ、最終的にはJRが開業1年前に駅名を決定する。